

～ “日頃の備え” について考えてみませんか？ ～

今年度の避難訓練は見合わせとなりました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、今年度の避難訓練については見合わせとなりました。

そこで、伝建地区の防災について、ご家族の皆様で考えるきっかけとして「新年防災特集号」を発刊します。



防災に関して、確認をしてみましょう。

- A 地震など、いつ起こるか分からない災害に備え、どのように**行動**すれば良いのかを理解している。
- B 災害に**備え**、非常用持出品や備蓄品を揃えている。
- C 災害が起こった時の避難経路や**避難場所**を把握している。
- D 常日頃から、**火災**については意識を持っている。



昨年を振り返って。

昨年は、桐生市でも約30件の火災(桐生市ホームページより)があり、伝建地区のお隣、本町三丁目地内でも建物火災がありました。皆様におかれましても、火気の取り扱い等、十分にご注意をお願いいたします。

また、一昨年は台風19号により桐生市でも避難勧告が出され、近隣自治体では大きな被害がありました。平成23年の東日本大震災もまだ記憶に新しいと思います。風水害、地震ともにいつ発生してもおかしくない状態ですので、日頃の備えが必要です。



A 地震が起きたら、どのように行動すれば良いのか。

例

(行動)

- ① まず身の安全の確保
↓
- ② 避難出口を確保
↓
- ③ 火の始末
↓
- ④ ラジオなどから情報把握
↓
- ⑤ 隣近所の安全を確認
↓
- ⑥ 徒歩で避難



【備え1】□B 非常用持出品をチェック

台風や大雨などで水害が発生しそうなときに、命を守るために一晩程度、避難所で過ごす場合。滞在中に必要なものは、自分で用意しましょう。

最低限必要になる持ち出し品

- 飲料水 1日分
- 食品 1日分
- 常備薬、お薬手帳
(持病の薬がある場合は特に)
- マスク、手指消毒液
(風邪・感染症対策のため)
- 座布団など (床に座り、体が痛くならないように)



※その他持ち出し品は、桐生市ホームページ「防災チェックシート」などをご覧になり、必要なものをそろえましょう

すぐに取り出せる場所に保管しましょう。



【備え2】□B 備蓄品をチェック

建物(自宅)の被害により、数日～長期間の避難生活が予想される場合。物資が確保できるようになるまでの間、非常用持出品に加え、備蓄品が必要になります。

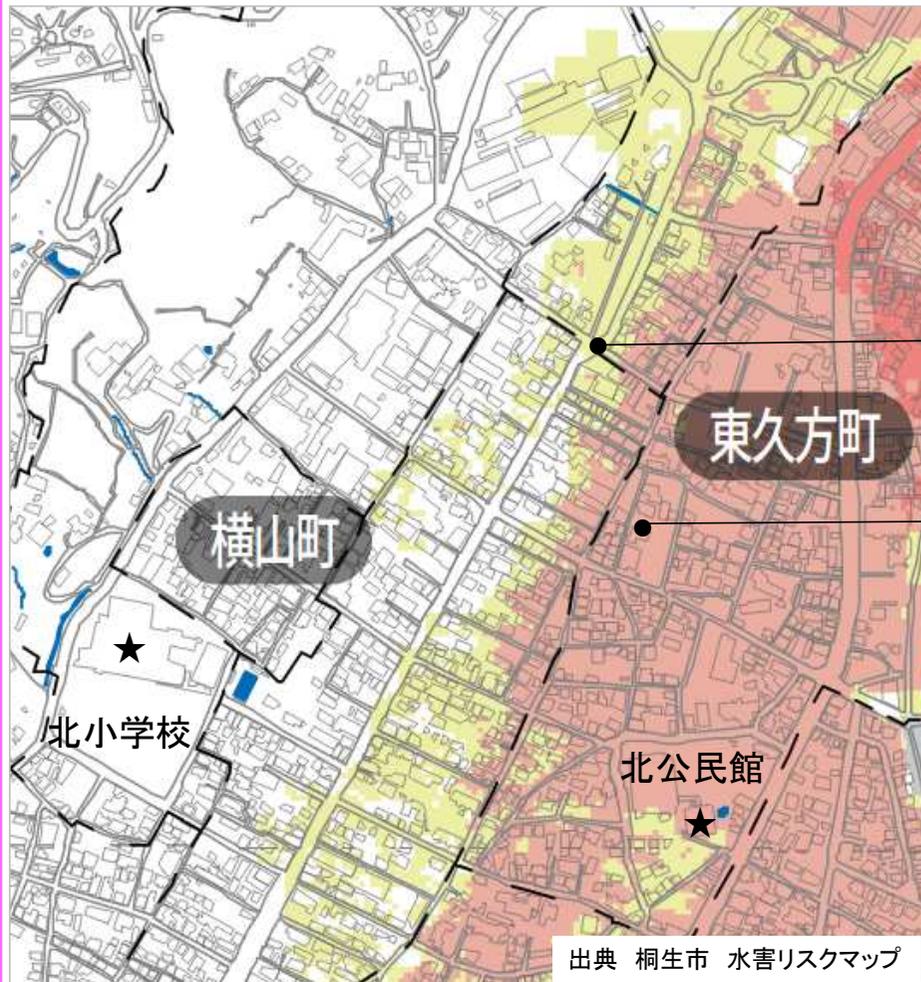
- 飲料水 3日程度
- 食品 3日程度 ※缶詰、レトルト食品等
- ティッシュ、ウェットティッシュ、簡易トイレ
- シャンプー(水のいらぬもの)
- 歯ブラシ、石けん、入れ歯(洗浄剤)
- 毛布、防寒着
- 着替え



※その他備蓄品は、桐生市ホームページ「防災チェックシート」などをご覧になり、必要なものをそろえましょう

3日程度の用意が目安です。

□C 災害が起きた場合の★避難場所(及び浸水被害)について



水害リスクマップ

最大規模の降雨による氾濫を想定してつくられたものです。必ずしもこのとおり浸水するわけではありません。

黄色・・・50cm未満の浸水が予想されます。床下浸水となります。

桃色・・・50cm～3m未満の浸水が予想されます。床上浸水となり、建物に被害が出る可能性があります。

避難は浸水前が基本です。50cmの浸水でも、歩き・車での避難が危険となります。雨風が強い・夜間で周りが暗い・避難前に浸水が始まってしまったなど、家から出て避難することが危険である場合、建物の2階以上に避難(垂直避難)して、身の安全を確保してください。

□D 常日頃から火災を防ぐために(例)

- ☆ ガスコンロ等の使用中は、そばから離れない。
- ☆ 仏壇のろうそくや線香をつけたまま、部屋を離れない。
- ☆ たばこの吸い殻はためないようにし、寝たばこは絶対にしない。
- ☆ たこ足配線はしない。コンセントやプラグの掃除はこまめにする。



参考: 桐生市ホームページ > 安全・安心 > 防災 > 災害に備える > 防災チェックシート(□A・B) > 各種ハザードマップ > 桐生市水害ハザードマップ(□C)

編集後記・・・昨年は、桐生市政にご協力をいただきありがとうございました。新型コロナウイルスの終息を願うとともに、皆様にとっても笑顔溢れる年となりますようお祈り申し上げます。これから、寒くなってまいります、体調管理を含め、手洗い・うがい等の感染対策にも引き続き、ご配慮をお願いいたします。

～感性育み 未来織りなす
絆なまち 桐生～

編集・発行
桐生市産業経済部観光交流課日本遺産活用室
電話 0277-46-1111(内線346、347)
令和3年1月1日発行 No.61